

平成28年 第12回

小林市教育委員会

定例会

会 議 録

平成28年11月24日 (木)

## 平成28年 第12回教育委員会定例会 会議録

- 1 日時 平成28年11月24日(木) 午後3時00分～
- 2 場所 南小学校 中校舎 会議室
- 3 出席委員 榎健一郎 大部菌智子 山中悦郎 大角安子 中屋敷史生
- 4 参与職員 山下康代 上別府優 深田利広 大山和彦  
(調整職員) 野口健史

### 5 議事

#### (報告)

報告第13号 平成27年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価  
について(最終案) ※議案第64号関連

#### (議案)

議案第64号 市議会定例会(12月議会)の議決を経るべき議案の原案の決定について

### 6 会議内容

開会 15:07

榎委員長

皆さん、こんにちは。

ただいまより平成28年11月17日付小林市教育委員会告示第22号で招集されました平成28年度第12回小林市教育委員会定例会を開催いたします。よろしく申し上げます。

さっそく、議事に入りたいと思います。

報告第13号平成27年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について、お願いいたします。

野口

報告第13号でございます。

昨年度一年間の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書ということでまとめさせていただいております。

明日から開会予定の第4回市議会定例会への提出議案一覧の一番下に報告書類があります。その1番目に、この点検評価報告書というのが載っておりますとおり、議会にこの報告を毎年しております。明日の日付で委員長名で報告書を提出することになっております。

総合評価の自己評価のところまでは前回案をお示ししまして、送り仮名などの表現上の訂正等はしましたが、評価の内容そのものにつきましては、前回の案のとおりとなっております。

最後に、知見の活用ということで、本年度から評価者が代わったんですが、宮崎大学の学部長である添田教授にこの講評をいただいております。昨年度までは兒玉理事だったんですが、副学長になられましたので、添田教育学部長にお願いをしております。

今回、評価者が代わったことで、評価の視点も変わっております。

それでは、知見の活用について、読み上げさせていただきます。

「平成27年度の小林市教育委員会においては、おおむね順調かつ適正に事業が計画・実施されているものと評価される。

特に重要度が高い項目については、高い実現度を達成しており、教育委員会の活動等が効果的に推進されていることが窺える。

前年度は、計画されながらも諸般の事情で実施できなかった市長と教育委員による意見交換についてであるが、平成27年度は「総合教育会議」を開催し、その中で教育行政の課題等について意見交換ができたことは、今後の小林市の教育行政の改善や新たな事業等の推進・展開に繋がるのが期待でき、大いに評価できる。

また、平成24年度から実施している「教育委員学校訪問」も継続的に行い、学校現場の状況を適宜把握し教育施策や予算等に反映させていることは、評価に値する。

管理・執行事務に関していえば、子ども・子育て支援新制度開始に伴う幼稚園保育料を見直し、所得状況等に応じた応能負担の考えを取り入れた階層別料金の導入の準備をしており、時代に応じた対応をしていると言える。

さらに、県指定の天然記念物「オオヨドカワゴロモ自生地」を国指定となるように申請をし、平成28年3月に国指定となることが公表されているが、本県の財産である豊かな自然環境を維持し、全国へそのことを発信していく取組であると高く評価することができる。

公の施設の管理については、市民のニーズに合わせた管理の変更等を行っており、一定の評価ができる。

一方、教育委員会から市民への情報発信・広報活動については、継続的に取り組む課題として残されている。

小林市ホームページや市報等を活用し積極的に情報発信しているものの、受け手の側の状況が見えてこない。

引き続き、広報活動に積極的に取り組むとともに、市民のニーズに応えていける取組がなされることが望まれる。

今後とも、円滑で適正な教育委員会活動が推進されるとともに、地域のニーズに合った、より一層有効性の高い、市民に開かれた諸事業が展開されることを期待する。」以上であります。

槇委員長 何かご質問ないでしょうか。

それでは、これを報告するという事によろしいでしょうか。(はい)

野口 明日、議会に送付させていただいて、議員さんのお手元に渡るということになります。あわせて、ホームページのほうで公表をさせていただきたいと思っております。

槇委員長 よろしいですね。(はい)

それでは、議案第64号市議会定例会の議決を経るべき議案の原案の決定について、お願いいたします。

野口 明日から開催される12月議会の議案でございます。

教育部からは、補正予算が学校教育課から1件とスポーツ振興課から2件あります。議案としましては、議案第127号平成28年度小林市一般会計補正予算(第6号)になります。

まず、学校教育課の補正予算ですが、小学校と中学校の就学援助事業費の補正予算でございます。費目は小学校、中学校ありますが、中身としては就学援助事業の補正予算ということでございます。

歳入部分は、国から補助金の交付内示があり、交付決定も来ているところですが、今、貧困対策とか特別支援の拡充が叫ばれていまして、手厚い支援ということで、事業計画に基づいて交付決定が示されているということでございます。ただ、特別支援については、今から申請を受け付け、認定作業をして交付決定等を保護者に出していきますので、若干、事業費ベースでいきますと全額受け取れない可能性も出てきます。事業費の2分

の1が補助対象になっていますので、その範囲内で、できるだけこの歳入は活用していけるほうが有利ですので、今後、精査に当たっていきたいと思っています。

次に、小学校の就学援助事業費ですが、平成27年度の執行額と平成28年度の見込みを算出しております。まず実績の27年の執行額ですが、2,681万8,311円が小学校の昨年度の実績額になります。本年度の10月12日現在での執行が1,455万7,375円ということで、年度半ばでの執行状況ということです。

認定者数ですとか人数というの載っていますので、ご覧いただければと思いますが、増えてきております。それに伴って、今後の支出見込みを給食費と学用品費で立てましたが、下から2段目のところに平成28年度の当初予算額と年度末執行見込額というのがありまして、ここの差額分が不足見込みということになり、全ての額ではなく、最低限必要と思われる額を補正として要求しています。今回、歳出の補正要求した額が載っております。小学校は準要保護の給食費があと40万必要だということで、その要求です。それと、特別支援は、先ほど歳入がたくさんあったということもあり、歳出を少し増やしているという内容になります。

中学校については、同じように今後の見込み等を立てまして、内訳をご覧くださいますと、まず要保護の修学旅行費は、実績で、1人当たり5万7,590円が補助限度額になります。当初2人ぐらいということで11万5,000円を見込んでいたんですが、3人該当者がいましたので、17万2,000円が必要ということになり、あと5万9,000円不足するというので要求をしているものです。

準要保護の給食費と学用品費の不足分は、認定者増に伴う部分の不足見込みということで要求額を計上しています。特別支援については、小学校と同様、歳出に合わせた形での増ということで要求しているところです。

以上です。

楨委員長            ありがとうございます。

深田スポーツ振興課長

今回、12月議会に補正を2件、上程させていただきました。

まず、体育振興事業費といたしまして133万7,000円、学校給食センター管理事業費（臨時）の部分といたしまして25万7,000円を計上いたしております。

内訳につきましては、今回、高等学校の全国大会出場負担金ということで、延べ11競技団体の代表、92名が全国大会に出場をしました。その負担金を133万7,000円計上したところでございます。

それと、もう一件が学校給食センター管理事業費でございます。

南小学校の牛乳用保冷庫が8月の終わりに故障をいたしまして、修繕で可能かどうか考えてきたんですけど、どうしても新しく購入しないと修繕では対応できないということになりました。今回補正をさせていただきまして新しく保冷庫を購入したいということで、25万7,000円を今回補正でお願いをしているところでございます。

なお、現在までは業者にお願いをいたしまして、リースで代替対応をしているところでございます。

補正につきましては以上でございます。よろしく申し上げます。

野口

状況を説明しますと、お手元に議会の日程表と一般質問の通告書をお配りしているんですが、明日開会で月曜日から一般質問が4日間あります。13名質問の方がいらっしゃるって、そのうち8名が教育委員会関係ということです。質問内容については、後ほどご覧いただいて、また次回、12月定例会で答弁、質疑内容については報告できるものと考えております。以上です。

槇委員長

ありがとうございます。

何かご質問ないでしょうか。

山中委員

就学援助の件なんですけど、右側の概要説明の欄、要保護の実績が、小学校が27年度実績で20人ですよね。中学校を見ると7ですよね。6学年と3学年だから半分と見たときでも、中学校は少ないですね。ということは、就労支援や福祉の制度が有効に働いて、準要保護も少なくなっていますけど、極端に要保護が少なくなっているの、そういう支援がうまく働いていると理解していいのかお尋ねします。

野口

要保護はいわゆる生活保護世帯ですから、単純に人数だけでどうかという

のは推し量れないかなと思ってまして、世帯が認定をされれば、もう自動的に要保護ということになるんですね。準要保護のほうは、申請があって、審査をして認定というプロセスがあるんですけども、要保護は、福祉のほうから生活保護を開始しますという通知を受けて、自動的に要保護の認定をするものですから、この人数、小学校と中学校の差があるかどうかというのは、ちゃんと分析しないとわからないかなと思っています。

ただ、最近傾向を見てみますと、就労して半年様子を見て、保護を辞退しますということで準要保護に変わられるケースも散見されますので、そういった前向きな自立支援の動きというのはあるんじゃないかなとは思いますが、自立支援センターですとかがありますので、そういった要素はあるかなと思っています。

中屋敷教育長 これからもそうなんですけども、貧困の問題というのは全国的な問題で、小林市議会でも、いろいろ一般質問があつたりします。理想的な形は、今、小学校で22で、中学校に行って減って、そしてそれが準要保護にスライドして、きちんと働いて所得が確保できるという方向に行くのが一番理想的な形になるのではないかなと思います。今、野口主幹が言っていたように、分析しないとわからないんですけど、理想的なイメージはそういうイメージだと思っています。以上です。

大部菌職務代理者 これを見ると、要保護の方が減って、準要保護が増えていますよね。  
30人ぐらい。要保護は15人ですけど、この準要保護の400人を減らしていかないとどうにもならないかなと思います。これだけたくさんの方が支援が要る状態なんですよ。

野口 先ほど教育長からもありましたが、要保護も準要保護も大きく人数が変わらなくて、小学校のほうは要保護が減って準要保護が増えているという状況に、人数を見ますとそういう形になっています。生活保護については、車を持ってないということがありまして、やはり仕事に出るからには車は必要だということで、少しずつアルバイトをされてというようなことがあるとは聞いているんですけども、生活改善というか、そういう意識がだんだん出てきた方は、改善していこうという意欲が出て、影響が出てきていると思われま。

あと、要保護からの移行というよりは、恐らく就労が難しいということで、例えば離婚をされたりとか失業したり、病気になられたりとかで生活が急変して申請という流れが、どちらかというともいような印象はあります。

中屋敷教育長 求人倍率は高いんですね。だから就労先がないとか、そういうのではないんです。都城に次いで小林市は高いんじゃないですかね。就労先はあるんですけども、今、この現実には職に就けないという状況があります。だから、その問題がかなり大きいかなという感じですよ。

野口 求人と就きたい職種が合っていないミスマッチが起きているということがあります。また、市にいろんな就労支援とかあるわけですけども、そういうサービスなどをハローワークと上手く繋ぐ必要があります。そこで、今後、宮崎労働局、小林市でいうとハローワークと市が協定を結んで、それを商工観光課が全部まとめて一本化して、労働局と情報交換をしながら、こちらも情報を出して、ジョブサポートとか、そういったのと上手く連携を図っていこうというのが、ちょうど先日からそういった作業が始まったところです。

そういうのが上手く回っていくと少しずつ上向きになるのかなというふうに思います。

榎委員長 ほかにないでしょうか。

大部菌職務代理者 南小学校の牛乳の保冷庫の故障ということで、これは修理ができないということは、耐用年数が来ているというか、古かったんでしょうか。

深田スポーツ振興課長

はい、古くて使えなくなりました。業者に点検をお願いしたところ、もう型式等も古いため修繕は厳しいということで、今、業者のご好意によってリースで代用品をお借りしている状況です。

野口 8月下旬に壊れたと思います。

深田課長 はい、夏休み明けの初登校日でした。

榎委員長 何かないですか、よろしいですか。(なし)

ありがとうございました。それでは、以上よろしくお願ひいたします。

野口 来月、次回は12月22日木曜日3時からなんですが、須木で開催になります。市教委に3時半にお集まりいただければと思います。



榎委員長        それでは、以上で本日の定例会を終了したいと思います。  
お疲れ様でした。

閉会 16 : 32

委員長

---

委員長職務代理者

---

委員

---

委員

---

教育長

---

調整職員

---